

### 第90回 茨城県中央メーデー

日時 4月27日(土) 10:00  
会場 茨城県三の丸庁舎広場

# 自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部  
Eメールアドレス [kenhonbu@j-ibaraki.jp](mailto:kenhonbu@j-ibaraki.jp)  
編集発行人 = 黒江正臣  
毎月5の日発行  
定価 = 1部5円(組合費に含む)  
印刷所 = コトブキ印刷株式会社

## バラマキ予算を批判

### 自治研究センターが地財学習会



自治体予算講演会で政府予算を批判した菅原敏夫地方自治総合研究所委嘱研究員

茨城県地方自治研究センターは3月2日、自治労会館で「2019年度政府予算と地方財政」をテーマに学習会を開きました。はじめに、鈴木博久自治研センター理事長があ

いさつしたあと、地方自治総合研究所委嘱研究員の菅原敏夫さんが講演しました。菅原さんは、2019年度政府予算について、「予算規模は過去二番目の規模であり、地方財政については『臨時交付金』、『特例交付金』、『森林環境譲与税』などの新たな財源により膨らんでいる」と述べ、「政府のごく短期のバラマキが増えただけで、そのあとにはこれまで以上の負担が自治体に覆い被さる『史上最悪の地財対策』と指

摘。とくに、「幼児教育の無償化財源は最初の半年だけ全額国費負担であるが、2020年度からは国2分の1、都道府県4分の1、市町村4分の1の負担ルールが適用され、これまでの税と社会保障の一体改革における負担割合(国2・地方1)から考えれば地方負担が大きくなる。消費税10%時には、消費税から地方交付税への参入割合も下がることを考えれば地方負担は確実に増える」などと政府予算の地財計画を批判しました。

## 支持拡大で必勝を！

統一自治体選・県本部推薦候補

 <b>自治労組織内候補</b> 石岡市議会議員選挙 <b>岡野孝男</b> (無所属・現)	 <b>自治労組織内候補</b> 水戸市議会議員選挙 <b>飯田正美</b> (社民党・現)
<b>一般推薦候補</b> ・取手市長選挙 藤井 信吾 ・日立市長選挙 小川 春樹 ・土浦市議会議員選挙 奥谷 崇 ・牛久市議会議員選挙 黒木 巨子 ・美浦村議会議員選挙 山崎 幸子	 <b>自治労組織内候補</b> 鹿嶋市議会議員選挙 <b>菅谷 毅</b> (無所属・現)



連合決起集会後水戸市内をデモ行進する自治労参加者

# 働く仲間の底上げめざす

## 連合茨城が春闘決起集会

連合茨城は3月2日、水戸市内の三の丸庁舎広場で2019春季生活闘争決起集会を開き、約1000人が参加する中で、春闘山場に向けた決意を固めました。集会で内山会長は春季

生活闘争に向けて、「すべての働く仲間の底上げをめざし最後まで粘り強く取り組んで行こう」と呼びかけました。次に、国民民主党、社民党代表などの来賓を紹介し激励のあいさつを受け

た。このあと採択された集会アピールでは、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため総がかりで行動していかう」と宣言しました。また、統一自治体選に向けて、首長選挙や自治体議員選挙で推薦する22

## 臨時大会の成功を 単組代表者会議を開く

県本部は3月11日、自治労会館で単組代表者会議を開き第115回県本部臨時大会に向けた役員推薦委員会の報告と議案の説明、参院選茨城選挙区の対応などを協議しました。はじめに千歳委員長が春闘に向けて「組合員からの要求をこの春闘期に提出し、確定期まで含めた取り組みを進めてほしい」と述べるとともに、時間外の上規制限問題への対応強化について呼びかけました。さらに、統一自治体選での組織内3候補をはじめ推薦候補の勝利に向けた取り組みを引き続き参院選での「岸まきこ」勝利へつなげて

ほしい」と訴えました。続いて、君和田書記長からストライキ批准成立の報告、参院選茨城選挙区における藤田幸久参議院議員の推薦取り消しと今後の対応については「連合茨城と協力政党間の候補者調整をふまえて対応していく」とする報告を受けました。次に、県本部臨時大会に向けた議案の説明と役員推薦委員会の報告を受け、臨時大会成功に向けた決意を確認しました。

## 自治体を越え交流・学習しよう

～第24回関東甲地連青年女性夏期交流集会～

日 時 6月14日(金)～16日(日)  
場 容 山梨県山中湖村  
・開会集会  
・職種別分散交流会  
・閉会集会  
※県内からバスで参加  
参加費 1人35,000円を予定



